

危機管理委員会

委員長 近藤 晃 生

副委員長 藤 田 俊 和

現在、日本は災害大国と呼ばれるくらい、毎年のように大きく災害が発生しています。

過去には1995年に発生しました阪神・淡路大震災や2011年に発生しました東日本大震災、そして記憶に新しい2018年の四国も甚大な被害を受けた西日本豪雨等憶えておられる方々も多く、最近では災害に備え、水・食料品・その他日用雑貨等を備蓄されている家庭も多くなり、更に近年では防災用の防災用品も準備されている家庭が多くなっていると思います。我が国の災害は地震だけではなく、台風・暴風雨・雪害と多くの災害が発生しており、あるデータによりますと香川県は災害に強い県として上位にランクされています。しかし災害に強い県だからと安心は禁物です。心配されています南海トラフ地震に関する気象庁の地殻変動の観測状況でも2019年春頃から四国中部でもそれまでの傾向と異なる地殻変動、2020年夏頃から四国東部でも地殻変動が観測されています。

更に3年前からは新たな感染症「新型コロナウイルス」は社会経済にも大きな打撃を与えており、過去を振り返っても想定が出来ない状況だと思えます。

■活動計画

危機管理委員会としては、上記に記載しています災害、感染症等が発生した際、企業は社会的責任の観点から迅速な対応が求められます。日頃から危機管理に関する教育・訓練をしておくことが重要です。

ついでには、危機管理に関するセミナーを開催したいと考えています。